



⑨染料液はお茶のような色に。少し甘い匂いもする染料液へ、ハンカチを入れて煮ました。



⑩その間みんなで森へ散策へ。台風で倒れたという、コナラの丘のコナラを見に行きました。



⑪途中、「こんなの見つけた!」と見せてくれたのは、ふわふわのコケ。みんなで触ってみました。



⑫切られたコナラには、シロスジカミキリの開けた穴がたくさん。穴をほじってみると、アリが住んでいました。



⑬ピロティへ戻り、鍋からハンカチを取り出し、媒染液へ。アルミ・鉄の2種類を作りました。



⑭媒染している間に、ハンカチを洗うタライも用意。協力してホースから水を入れました。



⑮ハンカチを媒染液から取り出し、絞りを外しました。輪ゴム取るのに苦戦中...



⑯絞りが全部外れたら、タライで水洗いして完成! 淡い桜色のハンカチができあがりました♪



最後に振り返りシートを書いて、今日の活動はおしまい! シートには、できあがったハンカチやコナラの丘の様子、見つけたモグラ塚の絵など、印象に残ったことをたくさん書いてくれました。

草木染めは、日本ではおよそ 3400 年前にはされていたことが分かっています。草木染めという文化には、その長い年月分の人々の知恵やくらしの歴史が詰まっています。最近では人工的に作られた合成染料が主流となり、手間やコストのかかる草木染めに触れる事が少なくなっていますが、そんな昔ながらの文化に触れ、親しむ機会となれば、と思います。(さんこ)